



慈愛の種を  
播きましょう

2002-2003年度 14期ロータリーテーマ

RIテーマ

# Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2002-11-6 第581回例会 NO.13-17 2002-11-20 発行

◎司会 SAA委員会 宮村 宏

◎点鐘 会長 小坂 一郎

◎国歌斉唱  
ロータリーソング「日も風も星も」  
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 小坂 一郎  
・岡山西南RC 椎原 裕二 様  
・ローテックス 山岡 聖子 さん

◎会務報告 会長 小坂 一郎  
・三クラブ合同例会ご苦勞様でした。お陰様で懇談会も無事終了致しました。  
・松崎ガバナーより、公式訪問に対する礼状が届いております。

◎幹事報告 幹事 平野 行廣  
・来週の例会は11月12日(火)のIMに振替です。午後2時点鐘。場所はパルテノン多摩小ホール  
・先週、FAXにてご連絡致しましたが、ポリオ撲滅キャンペーン「あばれ獅子」観劇会のチケットの申し込み用紙を回覧します。奮ってご協力頂ければ幸いです。クラブにA席10席とB席1席の割り当てがガバナー補佐より来ています。  
・先日、関岡会員よりご母堂様のご葬儀に当クラブより香典、供花、弔電をお贈り致しましたが、そのお礼のご挨拶をご丁寧に頂戴いたしましたのでお知らせ致します。  
・2750地区の地区大会が3/6-7から4/20-21に変更になった事に伴い、ローターアクトの年次大会が4/13(日)パルテノン多摩と京王プラザホテル多摩に変更になったとのお知らせが地区代表よりまいりました。又「メンバーズマニュアル」と「地区広報誌」もきましたので、回覧します。

◎月初めの話 会長 小坂 一郎  
ロータリーは異業種の人達の集まりでありましたが、

最近では同一業種の人でもいいではないかという考えになってきた。これは会員の減少をくい止める為ではないかと思う。それでも良いとは思いますが、仲良くできるということが大原則であると思います。まだ充填をしなければならない職種が沢山あるはずで。クラブは年々老化します。活性化に繋がる若い方々に入って頂きたい。我々は在籍中に自分の責任に於いて、各自もう一人入会させるという意識を持って頂きたいと思います。今月は増強に関して私の願いをお話致しました。

## 【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 赤尾 恭雄  
・会員総数 43名  
・出席義務者数 42名(出席免除者5名)  
・出席者数 30名  
・欠席者数 12名(事前MU0名)  
・出席率 71.43%  
・欠席者: 藤原 正範、福島 達也、桧垣 昭、伊藤 英也、伊澤ケイ子、北村 幸彦、小林 正、小泉 博、宮本 誠、佐伯 和廣、澄川 昇、由井 眞司  
・補填MU: なし

10/23 最終訂正出席率 85.71%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 高木 淳光  
岡山西南RC 椎原 裕二様

三女ユカリが高知国体の体操の団体で予選が14位でがっくりしていたのですが、決勝でなんと2位になり奇跡が起こり、選手も先生も父兄も涙、涙、涙でした。子供に素晴らしい感動を与えてもらいました。  
続きですが、今週の金曜日から静岡で全日本選手権です。予選を失敗無しにいくと、もしかすると土曜日にNHKでテレビ放映されるそうです。次女ユミ子がプロテストの1次試験を何とか通過しました。

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491  
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】小坂一郎 【幹事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子

【委員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝



小坂 一郎 山岡聖子さん、今日の卓話、楽しみにしております。

平野 行廣 11月2日午後7時55分、初孫（女兒）が生まれました。とうとう爺さんになりました。

〃 自分の誕生祝記念品を貰った事を忘れておりました。

大松 誠二 山岡さん、スピーチを楽しみにしています。

海野 榮一 めっきり寒くなりました。

津守 弘範 山岡さん、卓話を楽しみにしております。

杉野志保子 カレンダーもあと1枚。1年は早いですね。

加藤喜三郎 山岡さん、ようこそ。卓話楽しみです。

阿部 華歌 先日、母の米寿祝で山形へ出かけました。雪混じりでとてもとても寒かったです。でも、元気な母の姿をみてとても嬉しかったです。

高木 淳光 特別事業頑張りますので、皆様、ご協力宜しくお願い致します。

本日の合計¥18,000 (累計¥451,250)

## ◎その他の報告

### ・「バリ島の報告」

雑誌委員長 根本泰守

爆発したのが12日、私が行ったのが18日で現場は惨憺たるものであった。ギャラン通りは道幅が4-5mと狭く、爆風の勢いがものすごくみんな木っ端微塵という状況であった。普通は入れないが現地のロータリアンの案内で国立病院の死体置き場へ入れて頂いた。気温が30度で、設備がなく、死体の腐敗も激しいとの事でした。手術に際しての輸血液も保存できず、集まった時に一齐にやるという悲惨な状態でありました。この生々しい状況をロータリーの友誌に投稿をしておきました。

向こうでは2つのRCを訪問しましたが、その一つで女性専用のクラブ「タマン」では、丁度11周年記念行事をやっておりました。最後に輪になって「手に手繋いで」をやり、これは世界共通なのかとびっくりいたしました。

### ・R財団寄付について

R財団委員長 田中 實

ポリオ撲滅の募金として毎年一人当たり\$50集めたいという案が関係者の希望であり、その前に財団に一人\$100ということになっているので、その分が増えるのではないかとということで、委員会で相談されています。ポリオ撲滅キャンペーンとして「あばれ獅子」という芝居の観劇券の申し込みが割り当てとして来ています（申し込みの回覧中）。今ひとつお願いですが、財団寄付が一人\$100当努力目標にするということで回答してありますが、是非これにご協力を頂きたいと思います。

## ◎卓話 「森と湖の国での一年間」

ローテックス 山岡 聖子さん

フィンランドは人口500万人、面積330000km<sup>2</sup>で、丁度日本から九州を除いた所に東京の約半分の人々が住んでいることになります。派遣先のレンパーラという町はフィンランドの南に位置しますが、十分に寒い冬を経験してまいりました。

フィンランドで想像するのはオーロラとサウナ、森と湖であります。ホスト・ファミリーが、今日は外で良い物が見えると言うので庭に出たら、そこにオーロラがポツと見えました。フィンランドでは年に4-5回は見られるそうで、私も3回見ました。とても美しく、幻想的な感じでした。サウナは各家庭に必ずあり、夏は週1回、冬

には2-3回はあります。森では夏はベリーを摘みに行き、秋には茸を採りに行く。森は生活の中に強く結びついていくようです。冬は森の中でウインター・スポーツが楽しめる。特にお見せしたいのはこの写真（回覧）で、寒中水泳です。周りは雪で、湖の回りはまだ氷っています。カウンセラーの奥様とよく一緒に行きました。三つのホスト・ファミリーにお世話になりましたが、どこも大変よくして頂きました。まるでフィンランド人になったかのように扱って頂きました。



町は人口16000人でこの中にRCが二つあり、ロータリーの留学生と言うだけで人気者になり皆さんに声をかけていただいた。第一ファミリーはとても自然の中にある家（写真）で、

回りに家は一軒ありません。家からはバス停まで歩いて30分、夏は自転車で、冬は橇か歩くしかありません。レンパーラに学校は一つだけで、留学生は他にオーストラリアから一人来ていました。英語、数学、宗教をとり、美術では授業で写真の宿題があり、自分で印刷もやりました。こういう体験は日本の学校ではできません。学校の思い出は沢山ありますが、ダンス・パーティで相手を見つけてもらい、綺麗なドレスを着て高いハイヒールを履き、一気に大人になった様な気分でした。旅行は沢山行きました。ロータリー主催ではオースタム・キャンプ、ラップランド・ツアーとサンクトペテルブルクに行き、最後にユーロツアーでヨーロッパ9ヶ国を回りました。ユーロツアーは3週間のバス旅行でお尻が痛くなりましたが、友達も沢山できました。サンクトペテルブルクは街も美術館も綺麗で感動したのですが、一歩外へ出ると、わっと集まる物売りや物乞いをする子供、無気力で坐る子供達には考えさせられるものもあり、日本で平和ボケの中にいる自分にも気づいた思いでした。

フィンランドの大きな行事はクリスマスと6月21・22日の夏至祭です。クリスマスにはごちそうをいっぱい作り、チョコレートで沢山たべます。クリスマス・トゥリーは森の中で大きな木を探して切ってくるのです。クリスマスは家族だけで質素に行い、夏至祭は友人、親戚の大勢が集まり大きなガーデン・パーティーをします。フィンランド人は非常にシャイで初めて会った時は冷たく感じますが、つき合ううちに温かい情の篤さが出てくる人達です。プレゼントは相手の喜ぶものを一生懸命考え、お金を掛けずに手作りの物を作る。クリスマスには、親には内緒で子供達だけで劇をビデオ撮りし、各家庭の両親にプレゼントして大変喜ばれていました。

帰国の前日にホスト・ファミリーにグッツ・ベリーの苗木をプレゼントされ、ホスト・マザーは苗木の通関の際の気まで遣ってくれました。

一年を振り返り、新しい人、新しいものとの出会いで充実した素晴らしい一年であったと思います。またサンクトペテルブルクで見たロシア人の現状、フィンランドにいるイラク人難民の現況など、世界に抱える問題が見られたことで、私にも何かできるのか、大学生になったらボランティア活動にも参加して、将来、社会に貢献できる職業に就けたらいいと思います。このような経験をさせていただき、皆様本当にありがとうございました。

## ◎点鐘

会長 小坂 一郎

(今週の担当 吉沢 洋景)